

2011年3月11日 午後2時46分。

海が騒ぎ山が鳴り空がゆれた。

それは突然やってきた。

「地震だ」トミジは叫んだ。

「こりゃあ、でかいぞ」

葛飾区防災イベント

～語り継ぐ東日本大震災～

『いのち』と『防災』を考えよう

【日 時】令和2年3月7日(土)

14:00開演(13:30開場)

【会 場】かつしかシンフォニーヒルズ
モーツァルトホール

●参加費無料



●主催：葛飾区 ●共催：一般社団法人三月のひまわり

●協力：bayfm78

《朗 読》

きむら まさこ
木村 悠方子

「ことのは語り」として、講演で全国を回り、母親が心に届く言葉（ことのは）を子どもに語りかけること、自尊心を育むことがいかに大切かを伝えている。
医師の白野原重明先生の『10歳のいのちの授業』にも協力。
一般社団法人「三月のひまわり」顧問として東日本大震災の被災地復興支援にも尽力。



《朗 読》

さいとう とみじ
齋藤 富嗣

宮城県石巻市鮎川浜在住。
金華山沖でワカメ養殖の漁師として働きながら、海産物の直売所も営み、震災前は金華山で民宿も経営。震災後、金華山沖でのワカメ養殖を再開し、復興の足掛かりとして「金華山わかめ」他、金華山沖で獲れた海の幸の販売を「潮風商店」で開始している。
震災体験絵本「トミジの海」のモデル。



《特別出演》

フォークデュオ
ダ・カーポ

柳原まさとし、広子のフォークデュオ。1973年デビュー。「結婚するって本当ですか」「野に咲く花のように」「宗谷岬」などのヒット曲を持つ。2018年7月、童謡100年を記念して「童謡&抒情歌ファンタジーベスト」をリリース。
今も変わらぬ歌声は、世代を超えて、根強い人気を得ている。



《講 話》

株式会社石巻日日新聞 代表取締役社長

おうみ こういち
近江 弘一

2011年3月11日の震災に際して、手書きの壁新聞で注目される。壁新聞は現在「ジャーナリズムの聖地」、アメリカ・ワシントン D.C.「報道博物館」(NEWSEUM) に永久保存されている。
公益社団法人こどもみらい研究所と連携し「石巻日日こども新聞」でメディアを通じた育成活動を開始している。
日本テレビドキュメンタリードラマ「3.11 その日、石巻で何が起きたのか〜6枚の壁新聞」
主演/中村雅俊(近江弘一 役)



《合 唱》

シンフォニーヒルズ
少年少女合唱団

2004年より葛飾区の後援を受け発足。オペラ歌手の宮本益光を音楽監督として小学生～高校生まで100人を超す団員で構成。毎春にかつしかシンフォニーヒルズにて定期演奏会を開催し、介護施設への慰問演奏や、区内施設での演奏会など区内を中心とした活動のほか、2017年には神奈川県民ホールでの「ファンタスティックガラ・コンサート」に出演するなど、区内外で精力的に活動している。



【葛飾区防災イベント 会場・アクセス】



かつしかシンフォニーヒルズ
モーツァルトホール
東京都葛飾区立石6-33-1

【交通案内】
京成線「青砥」駅下車 徒歩8分
*ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。



葛飾区長
あおき かつり
青木 克徳

今年度は、日本各地で台風による大きな被害が発生しました。葛飾区においても、令和元年台風19号では、避難勧告を発令し、開設した117か所の避難所に約2万人の方が避難しました。そうした中で、地域の方が助け合って避難をされ、避難所の運営にも積極的に携わっていただきました。日ごろからの自らの備えはもとより、地域の皆さんによる助け合いの大切さを改めて認識したところでございます。今後も、区民の皆さんと区・消防等が一体となって、減災・防災対策を進めてまいります。
今回の公演では、東日本大震災での出来事をもとに、いのちの大切さと災害に対する備えの必要性について、朗読や演奏を通じて学ぶことができる内容となっております。更には本区で活躍するシンフォニーヒルズ少年少女合唱団も参加し、ダ・カーポさんとの共演もあると何っておりますので、合唱団の活躍にもご注目ください。
本公演を通して東日本大震災に思いを寄せながら、本区でもいつ起こるかかわからない災害に対して一人ひとりが取り組めることを考える一助になることを願っております。

【お問合せ】

葛飾区地域振興部危機管理課管理係
TEL 03-5654-8223

主催：葛飾区

共催：一般社団法人 三月のひまわり

協力：bayfm78